

経営比較分析表（令和4年度決算）

福井県坂井市 坂井市立三国病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
89,369	8,291	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
105	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	105
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
90	-	90

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、市内でも数少ない産婦人科、小児科、人工透析を標榜するとともに救急告示病院として二次救急医療を担い、市民が安心して暮らし、子どもを産み育てるための重要な社会インフラとしての役割を担っています。今後もこの役割を継続して担いつつ、高齢化に伴い増加が予想される回復期需要に的確に対応し、福井坂井医療圏をはじめとした急性期病院の後方支援機能を担います。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症関係補助金等の収入の影響もあり昨年度に引き続き100を超え、医業収支比率も外来収益の増等により、昨年度を上回る結果になりました。また、病床利用率は昨年度と比較すると低下したものの、4年続けて類似病院の平均値を上回る結果になりました。職員給与費対医業収益比率は給与費の増加により若干上回りました。材料費の適正な管理により材料費対医業収益比率は低い水準にあります。

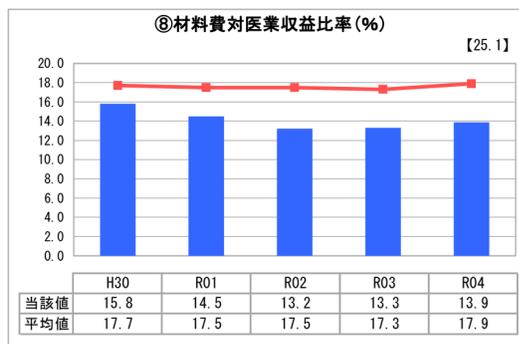
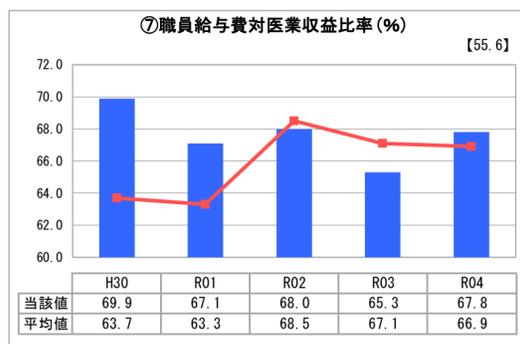
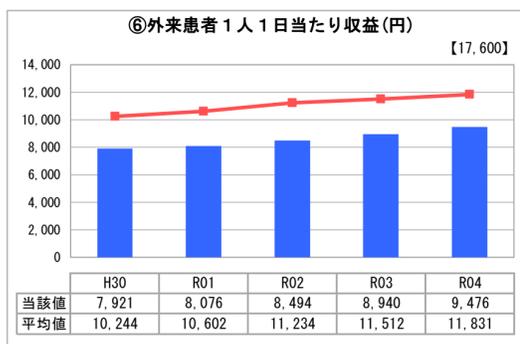
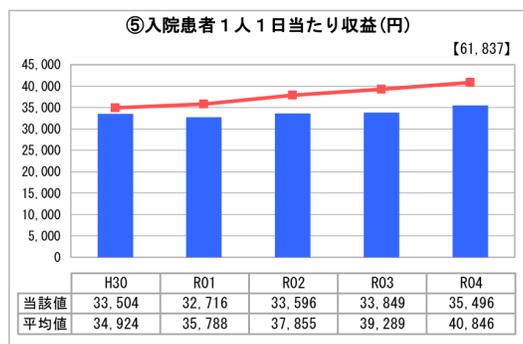
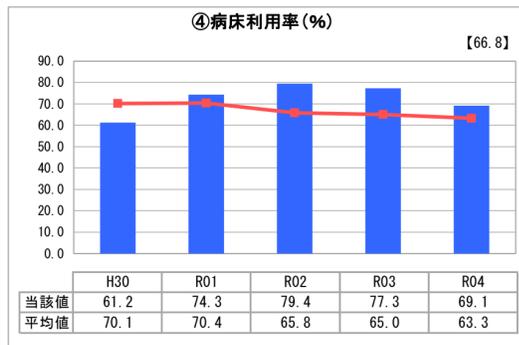
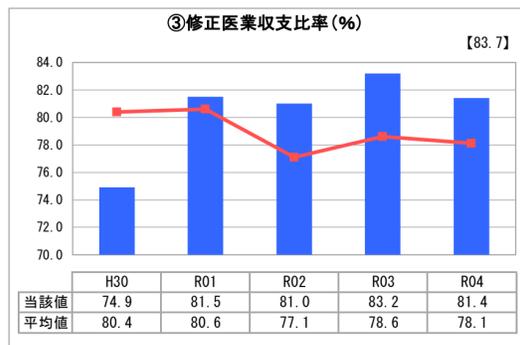
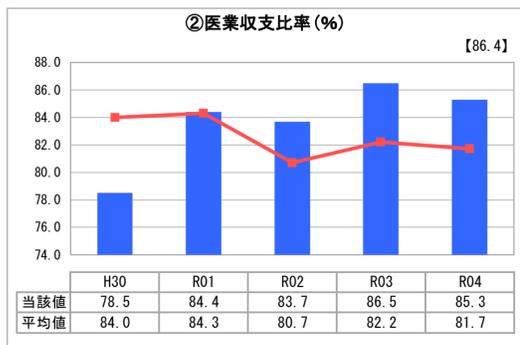
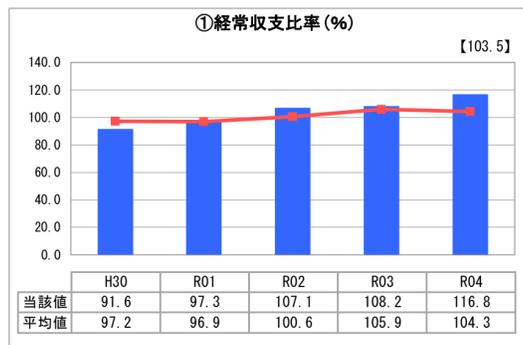
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、全国、類似病院平均値を下回り、器械備品減価償却率は、若干上回っていますが、ほぼ適正な水準にあります。1床当たりの有形固定資産は、全国平均は下回りますが、類似病院平均値を上回り、また病院施設の改築後17年が経過していることから、今後の計画的な投資、更新が必要になると考えます。

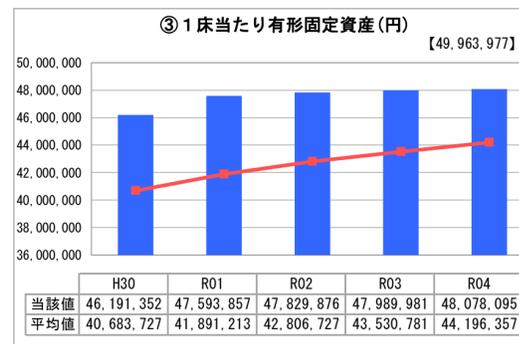
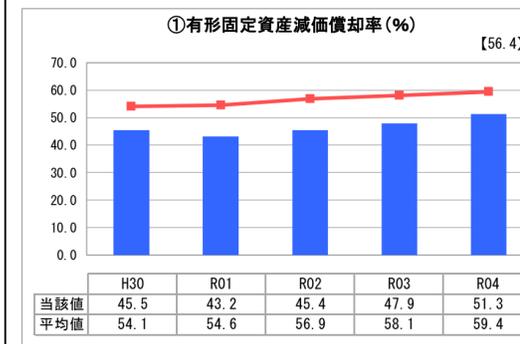
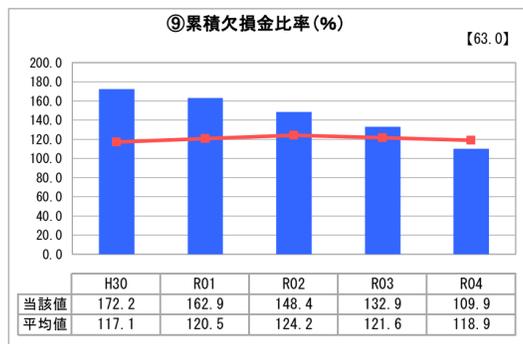
全体総括

最も主要な経営指標である経常収支比率については、昨年度に引き続き100を超えています。これは新型コロナウイルス感染症関係補助金の収入が大きな要因となっています。コロナウイルス感染症の終息が見込まれる中、公立病院としての役割を果たしていくための経営基盤の確立に向け、更なる病床利用率の向上等による経営改善を図ります。今後経営改善が進展しない場合には、経営形態の見直しも視野に入れた取り組みが必要となります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。